

ラポートかわら版

2020年 11月号

西部在宅障害者福祉センター

重症心身障害者デイケア ラポートたるみ

吹く風の中にも秋の気配が感じられるようになり、今年も残り2か月を残すばかりとなりました。

今年は、新型コロナウイルスが多方面に影響を及ぼしており「新しい生活様式」も、少しずつ定着してきているのではないのでしょうか。マイバック制が導入され、エコバックを常に持ち歩いている人も多く、スーパーマーケットなどにマイバックを持参されている人は7割を超えているそうです。

2020年の上半期では、任天堂の「あつまれどうぶつの森」が人気を博し、ナイキ社の厚底のランニングシューズも話題になりました。また、在宅で過ごす時間が増えたことから調理家電やバリカンなどの需要も増えたようです。

10月には近隣でも散歩に出掛け季節の移り変わりを肌で感じてもらい利用者の皆さんも、短い秋を感じてもらえたのではないのでしょうか！？

11月の3グループ交流会の実施に向けて着々と準備を進めています。少しでも旅行気分が味わえるような企画を考えています。

副主査 生活支援員 北村 直也

お月見会



お月見というと、「うさぎうさぎ なに見てはねる 十五夜お月さま 見てはねる」という『うさぎ』の歌を思い出す方も多いのではないのでしょうか？ お月見は、この歌でも出てくる、十五夜お月さまの日に行われます。

今年もシリウス、オリオン、ペガサスの各グループでお月見会を行いました。かわいいウサギの妖精さん??も来て抹茶を飲んだりして皆さん喜んでいました。

生活支援員 伊藤 勝弘

遠出の散歩



秋晴れの季節の中、各グループで散歩に出掛けました。コンビニまで行ったり、センター周辺を散策に行き、それぞれ好きなジュースを購入しセンターに帰ってきました。楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

